

オリコンサル シンガポール最大手コンサル SJ社と連携強化

オリエンタルコンサルタンツグローバルの米澤栄二社長は6日、シンガポール最大手のコンサルタント会社スルバナ・ジャロング・オリエンタル・コンサルタンツグループ社（SJ）を訪ね、シヨーン・チャオCEO、スルバナ・ジャロング・オリエンタル・コンサルタンツグループ社と連携強化の覚書を交わした。

同社は、2017年にSJ社のグループ会社で豪州メルボルンに本拠を置くスメック社とパートナーシップ拡大の覚書を交わし、プロジェクトの共同事業強化や人材交流プログラムによる社員の相互受け入れを実施してきた。

今回のSJ社との覚書では、共同案件の創出を図り、さらなる連携強化を推進することを確認した。これに合わせてテーマ別のワークショップも行った。

SJ社は、70年を超える歴史を持ち、世界40カ国120カ所以上にオフィスを構える総合エンジニアリング会社。そのグループ会社であるスメック社は、水力発電、再生可能エネルギー、道路・鉄道・空港・港湾などの運輸分野、上下水道など幅広い分野を手掛けるコンサルティンク会社として、世界40カ国約100カ所にオフィスがある。

